

学生国際 NGO BOAT

BOAT レター 2008 冬



E-mail: boatotoiwase@live.jp

BOAT のホームページ: http://www.geocities.jp/boat_students/index.htm

最近の BOAT

夏から秋にかけての BOAT は、中国・四川大地震の被災地への渡航支援・プラネタリウムチャリティーコンサート・学園祭でのアフリカの朝ごはん販売と大きなイベントが続き、忙しい日々を送ってきましたが、今はようやく落ち着いたかなという感じです。詳しい活動に関しては各記事をご覧ください。

ところでみなさんは BOAT のホームページをご覧になった事がありますか？最近、リニューアルしました！今までの活動や、3ヶ月里親プロジェクトの概要、これからの予定など今後も色々な情報を載せていきます。またリニューアルに伴い、ブログを始めました。こちらでは普段の私たちの活動の様子を知ることができます。ホームページにリンクをはっているのでぜひアクセスしてみてください。

そして、この度 BOAT は役員交代を行いました。新役員を筆頭に今までの BOAT より更にパワーアップしていこうと意気込んでおります。また、「被災地の人々や貧困という問題に対して私たち学生ができること」を模索し続け、部員が一丸となって活動していこうと思っております。



3ヶ月里親プロジェクト報告

プロジェクト開始から3カ月が経過し第一期が終了しました。

体重測定の結果、診療所に通う栄養失調児たち全体の平均としては低くはありますが、体重正常域に入ることができました。子供たち一人一人で見ると、彼らの半数以上は大きく体重が増加し回復に至っています。しかし、逆に体重が減ってしまった子もいます。また残念ながら途中で診療所に通ってこなくなった子もいました。原因として診療所へ通う頻度の違い、病気や家庭内の事情などがあります。

回復した子供たちについてもひとまず安心できるといった状態で、再度体調を崩して診療所へ通い始める可能性も考えられます。そこで診療所ではアフリカ友の会スタッフの方々が、母親たちに病気や食事の栄養に関する講義を行っています。講義中は母親からの意見や質問も活発で、適切な知識を得ることができれば子供たちのその後のフォローになるのではと思っています。

栄養失調児のドロップアウト(突然何の知らせもなく通ってこなくなる事)などの問題はありますが、この栄養補助が現地で少しずつ根付いていけばと願っています。第一期にご参加頂いた3ヶ月里親の皆様、本当にありがとうございました。現地診療所スタッフの方からも栄養補助のおかげで子供たちが回復しているとお礼が来ています。

BOAT は第一期の反省を踏まえながら、今月より第二期を開始したいと思います。

長崎大学医学部5年 千早 啓介



BOAT レター

~ 2008 WINTER ~

BOAT
3ヶ月里親プロジェクト
アフリカのあさごはん。

BOAT 新体制移行

1月9日に役員引継ぎの話し合いが行われ、1, 2年生を主体としたBOAT新体制が決定致しましたのでお知らせします。

【第四期新体制】

代表	井上隼人	(長崎大学経済学部2年)
副代表	松延正彦	(長崎大学教育学部2年)
	磯道岳歩	(長崎大学工学部1年)
書記	迎 愛香	(長崎大学教育学部2年)
	浅井絵梨子	(長崎大学環境科学部1年)
会計	森 篤史	(長崎大学環境科学部1年)
広報部長	出町卓也	(県立長崎シーボルト大学国際情報学部2年)
総務部長	田邊峻也	(長崎大学環境科学部1年)



四代目代表あいさつ

代表に就任致しました井上隼人です。今年のBOATは春先から多くの学生が入部し、先代に劣らない意欲ある部員が集まりました。活動内容としましては、今までの被災地渡航支援に加え、慢性的な貧困問題への取り組みとして新たに「3ヶ月里親プロジェクト」を開始し、団体として大きく成長した年となり、充実した日々を送っております。

今回の役員につきましては、春に入ったばかりの部員が多くを占め、頼りないと思われるかもしれませんが、3ヶ月里親プロジェクト

や四川渡航支援、プラネタリウムコンサートなど大きなイベントを経験し、着実に力をつけていると自負しております。

新体制となったBOATとしては、先代が築き上げた「3ヶ月里親プロジェクト」が途切れることのないように地盤をしっかりと固めること、四川の被災者によりそった支援及び情報発信、地域の国際協力の輪を広げていくことを目標にしていこうと考えております。

これらの活動を行えるのも、関係者の皆様の変わらぬご理解、ご協力があったるものです。部員一同、今後とも一層の努力をしていく覚悟ですので、これからもよろしく願い致します。



左から副代表・松延、代表・井上、副代表・磯道

長崎大学経済学部2年 四代目代表 井上 隼人

四川大地震 渡航支援活動報告

5月12日、M7.5の大地震が四川で発生し、甚大な被害が出ました。これに対して、私たちBOATにも何かできないかと考え、渡航に向けて活動を開始しました。渡航前の6月から8月にかけて、現地での活動内容を話し合い、また募金活動やチャリティーイベントを行い、準備を進めました。まず、8月3日から14日にかけて先遣が渡航し、活動しながら現地の状況を掴んできました。そして先遣の情報を参考にして、9月6日から21日まで10人のBOATメンバーが現地で活動してきました。

実際に現地に行ってみて、まだまだ復興の目途がたっていない現地の厳しい状況を知りました。

家を建て直す十分な資金がないこと、冬を越す準備が間に合っていないこと、また小学校や幼稚園では、子どもたちが学習するための環境が整っていないことなどがわかりました。被災者には今後への不安が重くのしかかっていることが伝わってきました。



会計報告

募金合計	147,439 円
支出 人件費	394.5 円
活動費	7900 円
支出合計	8294.5 円
差引残高	16,303 円 (1031.2 元)

残高は、四川大地震に関する今後の活動に使わせていただきます。

なお、航空チケット・宿泊費等は個人で負担し、募金の全額は被災地のために使わせていただきました。



BOAT レター

~2008 WINTER~



北川県の村での活動

私たちは日本の NGO 団体の協力の元、北川県に位置するある村で瓦礫撤去などの肉体労働を行いました。村の人は、農業と並行して住宅再建のために日々作業を続けていました。しかし、働き手は出稼ぎに出てしまっていて、人手が足りていない状況でした。



・まだ使用できるレンガに付いているセメントはがし



・倉庫として使われていたテントの移動



・再建用に道に積まれたレンガを邪魔にならない場所への移動



・木材を売るためにトラックに移動する作業



ダウンベスト、カッパの寄付

CODE に協力してもらい活動を行っていた村の、特に被害の激しかった約 50 戸は、住宅の倒壊や損壊のため、冬を越すのに十分な防寒がなされていませんでした。そこで、ダウンベストとカッパのそれぞれ 1 着ずつを寄付することにしました。

ダウンベストとカッパの購入はメンバー自らが仕入れの調査・買出しを行いました。

村の方々はとても喜んでくださいました。



小学校・幼稚園への絵本やおもちゃの寄付

四川大学の学生の紹介で見つけた、現地 NGO 団体は、主に学校に本を届けるなどの活動をしていました。今回の募金の半分近くをこの団体の協力を通して活用しました。

- ・絵本を青川・安県の小学校と幼稚園に寄付
- ・現地 NGO 団体が学校に寄付する絵本の仕分け・運搬の手伝い
- ・安県の幼稚園におもちゃ(レゴ、パズル、積木、粘土、ペン、画用紙など)・うさぎの寄付
- ・子どもたちとのレクリエーション(バルーンアート、ジャグリング)



小学校の補強作業

安県の成都市内の大学生 20 人ほどと共に、仮設校舎の隙間を埋め、すきま風を防いで冬に備える作業を行いました。



観光地の調査

四川省の主な産業のひとつは観光業です。しかし地震により観光客が減少していました。私たちは観光地が再び賑わうようになれば、復興もさらに進むだろうと思い、帰国後日本でも行っていく支援活動として観光地の支援を考えました。

そこで実際に、四川省有数の観光地である都江堰へ行き、地震後の観光地としての状況を、見聞きして来ました。



BOAT レター

~ 2008 WINTER ~



『プラネタリウムチャリティーコンサート』

11月1日・2日に、学生国際 NGO BOAT・長崎市科学館主催『プラネタリウムチャリティーコンサート』を開催いたしました。

プラネタリウムでのコンサートは長崎初の試みで多くの不安がりましたが、メンバーの努力、そして何よりもご協力して下さった多くの方々のおかげで無事に終えることができました。ご来場いただいたお客様からも温かいお言葉をいただきました。

満点の星空を眺めながら、星の解説、そして生演奏に耳を傾ける。日常から離れたリラックスしたひと時を提供できたのではない

かと思っております。また今回は中央アフリカの星空の投影も行いました。私たちは皆同じ空の下で生きている、そんなことを感じていただければとの願いを込めました。

BOATでは今後も様々なイベントを企画していきますが、今回の経験を次につなげられるよう励んでいきたいと思っております。

長崎大学教育学部 3年 中野 華子



主催 学生国際 NGO BOAT・長崎市科学館
後援 長崎新聞社・毎日新聞社
西日本新聞社・朝日新聞社
エフエム長崎・長崎市民エフエム放送
NBC 長崎放送・NIB 長崎国際テレビ
KTN テレビ長崎・NCC 長崎文化放送
NHK 長崎放送局 (順不同)

ゲスト: 木管アンサンブル POE

堀内伊吹(ピアノ)・小川勉(クラリネット)・種口敬明(ファゴット)

来場者数 両日 235名 11月1日(125名)、11月2日(110名)

会計報告

収入 チケット売り上げ	224,800 円	支出 パンフレット・チラシ印刷代(業者委託分)	123,459 円
広告売り上げ	333,000 円	ゲスト謝礼(機材レンタル代込)	150,000 円
寄付金	22,000 円	その他諸経費	47,544 円
<u>収入 579,800 円</u>		<u>支出 321,003 円</u>	
		<u>収益金額 258,797 円</u>	

今回の収益金はすべて『3ヶ月里親プロジェクト』に当てさせて頂き、貧困や病気・栄養失調に苦しむアフリカの子どものために大切にに使わせて頂きます。

四川被災地渡航を終えて

地震のあった5月12日から約4か月後、私たちBOATメンバーは中国四川省へ被災地支援を行うために成都へと出発しました。現地に到着してすぐ



に私たちの目の前に広がったのは、大都市成都の活気あるきらびやかな光景でした。本当に被災地なのだろうか、これが最初の印象でした。しかし成都から被災した村へ行く道のり、また村の様子を見るとほとんど復興が進んでおらず、都市との違いを感じました。

活動を通じて思ったことは、支援というものは一方的に行うことではなく共有して行うものであり、共同作業というツールを介して、被災者の方と心を通い合わせるということです。それが何よりも大切なことだと気付きました。

今後もBOAT全体で、活動を継続していきたいと思います。

長崎大学教育学部3年 竹添 由貴

KARIBUNI

11月21~23日に行われた長崎大学祭も皆様のおかげで無事終了することができました。当日はアフリカの朝ごはんの他にも、以前BOATが支援したスリランカの飲み物であるチャイとクッキーを販売し、来ていただいた方々にはどれも好評でした。



また、工学部で行われた環境や貧困をテーマにした展示会の中でもBOATについて取り上げていただきました。

今回の店名の「Karibuni」とはスワヒリ語で“歓迎”を表す言葉で、以前から知っておられる方も今回初めてBOATを知る方も温かく迎えたい、というメンバーの気持ちが込められています。

次回の開店もご期待ください！

長崎大学環境科学部1年 森 篤史

メンバー紹介

新代表・井上隼人

企画を練る時にかりんとうは忘れない。一言で言えば野心家、でも気配り上手。そんな元宴会部長はとにかく楽しいこと大好き。最近フリマ出売率上昇中。あと字の雑さはすでにメンバー全員が知るところ。

そんな井上隼人が今回新代表に就任。とりあえずお祭りごとの回数は増えそうです。



あ、俺かりんとうでええよ。

似顔絵(10倍美化)作: 迎愛香画伯

世界を知ろう

乳幼児死亡率

みなさんは乳幼児死亡率という言葉を知っていますか？乳幼児死亡率とは生まれた子供が5歳までに死亡する確率を指します。

例えば乳幼児死亡率10%だと、生まれた子供100人のうち10人は5歳になる前に死亡しているということになります。ちなみに

日本の乳幼児死亡率は **0.4%**

中央アフリカ共和国は **17.7%**

最も乳幼児死亡率の高いシエラレオネでは **27%** となっています。

しかもアフリカで5歳までに亡くなる子供の4割は生後1か月を迎えることができません。

こうした子供たちの命は予防接種や栄養指導など、先進国では当たり前の基本的な保健サービスによって救うことが可能です。

中央アフリカでは6人に1人、シエラレオネでは4人に1人が5歳まで生きることが出来ないんだ。



BOAT のイベント

カレンダー手帳市 & 世界のカレンダー即売会

長崎県国際交流協会をはじめ多くの方々のご協力を得て、今年度もカレンダー手帳市を開催します。企業や個人等から寄贈していただいた、海外のものを含むカレンダーや手帳をチャリティーとして販売します。ぜひご来場ください。

場所: 出島交流会館

日程: 1月12日(月) ~ 17日(土)



中国四川省渡航

今年の夏、私たち BOAT は中国の大地震の被災者支援のため四川省に渡航しました。そして 2009 年の春再び中国に渡ります。

たった 1 回だけの支援で終わらず、被災地は今どうなっているのか自分たちの目で確かめようと考え決定いたしました。皆様も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いします。

年間予定

- 12月 3ヶ月里親第二期開始
- 1月 カレンダー手帳市
& 世界のカレンダー即売会
中学校訪問授業
- 3月 中国四川省渡航(時期未定)
BOAT 2008 年度報告会
- 4月 3ヶ月里親第三期開始





学生国際 NGO BOAT